

2月25日、3月19日開催  
審査した内容(議案2件、請願1件、陳情2件、報告事項8件)

報告事項 大河ドラマへの取組状況について

関係機関25団体から構成される「大河ドラマ『鎌倉殿の13人』鎌倉市推進協議会」が2月3日に設立された旨の報告がありました。

今後、大河ドラマに関する取り組みは同協議会を軸に進められますが、その中核となる大河ドラマ館については、大河ドラマを契機に鎌倉の歴史文化への興味・関心を高めていただけるよう、鎌倉国宝館や鎌倉歴史文化交流館等の市内文化施設と一体感のある企画を検討し、来館者を増やしたいとのことです。

委員会では、報告事項について了承されましたが、新年度予算の予備審査において、大河ドラマ推進協議会負担金のうち、主にコンテンツ料および施設賃料の算出方法に関する質疑を行った後、予算等審査特別委員会に対して意見を送付し、慎重に審査するよう求めました。



妙本寺(写真提供:鎌倉市観光協会)【『鎌倉殿の13人』の1人である比企能員一族の屋敷跡といわれる】

3月1日、19日開催  
審査した内容(議案13件、請願1件、陳情2件、報告事項10件)

報告事項 梶原四丁目用地利活用事業の取組状況について

梶原四丁目用地利活用事業について、令和2年(2020年)10月に実施した2者によるプレゼンテーションにより、アルビオンアート株式会社を優先交渉権者として決定し、基本協定締結協議を進めていきましたが、当該事業者から令和3年(2021年)2月24日付で、新型コロナウイルスの影響が想定以上に拡大・長期化したことにより、出資者の確保が困難になったため、優先交渉権を辞退する旨の届出書が提出され、これを受諾したとの報告がありました。また、本事業の公募に関する募集要項に、次点交渉権者に関する規定を設けていたことから、次点交渉権者となった株式会社アイネットに対して、2月26日付で基本協定締結のための協議の申入れを行ったとのことです。当委員会への報告の時点では、申入れに対する同者からの回答を得られておらず、今後、協議に応じる旨の回答が得られた場合を想定し、準備を行っていくとのことでした。

委員会では、報告事項について了承されました。

観光厚生常任委員会

常任委員会

総務常任委員会

建設常任委員会

このほかに、新年度予算関係議案の予備審査を行いました。

教育こどもみらい常任委員会

2月26日開催  
審査した内容(議案2件、陳情1件、報告事項8件)

報告事項 深沢地域整備事業の現状について

令和元年(2019年)8月以降、神奈川県、藤沢市、鎌倉市、JR東日本の4者協定に基づき、JR東日本が実施してきた新駅設置に係る概略設計の結果、同社から、新駅設置に係る概算事業費が約150億円となること、併せて、同社の費用負担は約15%とする意思が示されたため、本年2月8日に4者が新駅設置に向け協力して取り組むことに合意し、覚書を締結したとのことです。

この約150億円のうち、本市の費用負担は、27.5%である約41億円となるものの、そのうち約37億円は、深沢地域整備事業用地で予定されている土地区画整理事業の保留地処分金を活用することで、本市の実質的な負担額は約4億円と見込んでおり、今後、国の交付金充当の検討も行き、さらなる負担軽減に取り組んでいくとのことです。

委員会では、担当原局への質疑の後、市長に対して、費用に関する情報の出し方や、新駅設置の見極めの判断などについて質疑を行いました。多数の委員が了承できるものではないとして聞きおくこととしました。

(関連記事 2面、議会全員協議会の記事をご参照ください)

2月24日、3月5日開催  
審査した内容(議案1件、陳情2件、報告事項5件)

報告事項 令和2年度(2020年度)鎌倉市指定文化財の指定について

市教育委員会は、1791年(寛政3年)に作成された古文書「紙本淡彩報国寺境内絵図」を市指定文化財に指定したとのことです。絵図は、建長寺が報国寺をはじめとする末寺の境内絵図を取りまとめて江戸幕府へ提出した際に、報国寺に残された控えとみられます。中世から近世にかけて境内の様子を詳細に記した資料は少なく、大変貴重な資料とのことです。委員会では、報告事項について了承されました。



「紙本淡彩報国寺境内絵図」の一部

令和3年度一般会計予算等を審査  
一般会計予算を可決

1 予算関係議案の提案

2月12日開催の本会議において、市長から令和3年度の市政運営に対する所信と施策概要の説明が行われ、一般会計予算、6特別会計予算など、令和3年度予算関係議案16件の提案が、また、2月18日開催の本会議において、追加議案1件の提案がされました。主な内容は次のとおりです。

(予算総額)

一般会計および6特別会計の合計/1139億9540万1千円(前年度比0.9%の減)

(各予算規模)

一般会計/613億1420万円(前年度比4.5%の減)

3 予算特別委員会審査

予算特別委員会では、3月8日から12日にかけて、付託された予算関係議案について、市長が所信表明で述べている予算の内容はどのようなものか、限られた財源の中で、第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画実施計画に位置付けられた諸事業をはじめ、市民生活に密着した事業や重点的かつ政策的な課題・施策がどのように予算に反映されているかといった観点から担当原

2 予算特別委員会の設置

2月22日に開催された本会議において、予算関係議案(2月12日開催の本会議で議決した1件を除く16件)に対する各会派からの代表質問を終えました。その後、予算関係議案は、令和3年度の市政を決定する重要な案件であり、議会の立場から十分なる審査・検討を加える必要があることから、特別委員会設置の動議により8名の委員からなる令和3年度鎌倉市一般会計予算等審査特別委員会(以下「予算特別委員会」という)を設置し、予算関係議案16件の審査を付託しました。

4 予算特別委員会採決

付託を受けた令和3年度一般会計予算など16議案の採決を行いました。

5 審査結果の報告

3月19日の本会議において、予算特別委員長から審査結果等が報告され、次の意見が付けられました。

① 包括的支援体制推進事業について

相談窓口のワンストップ化を目指し、設置している「くらしと福祉の相談窓口」において、市民の複合的な課題を丸ごと受け止め解決していくために、関係諸機関と連携し、包括的な支援体制を推進しているが、相談に当たる担当者には、専門的なスキルが要求されるとともに、関係部署との連携調整が必要となることから、事業の推進の根幹は相談経験の豊富な市職員が担うことを求める。

② 新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種について

既に、医療従事者に対する先行接種が開始されたところであるが、今後、高齢者施設等の入所者への接種後に、集団接種が本格化することを受け、市民に対し、引き続きワクチン接種に係る情報を適切に開示するとともに、接種を

希望する市民が滞滞なく接種できる体制の構築を求める。

③ 埋蔵文化財出土品の整理およびICT教育について

約3万箱あった再整理が必要な埋蔵文化財出土品のうち、人的環境を整えること、現在、約1万箱の整理が完了したものの、いまだ約2万箱が未整理のままである。埋蔵文化財の記録を保存し、後世に伝えるために、将来的な保管場所の課題を考慮しながら、優先的に整理に取り組むことを求める。

6 本会議で採決

委員長報告の後、各会派の議員および1名の無所属議員から、討論として、原案に対する賛否の意見が表明されました。その後、採決を行った結果、一般会計予算および国民健康保険事業、公共用地先行取得事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業の4特別会計予算ならびに3件の条例議案は多数の賛成により原案を可決、大船駅東口市街地再開発事業特別会計予算、下水道事業会計予算および6件の条例議案は総員の賛成により原案を可決しました。



一般会計予算等審査特別委員会委員(議席順)

|                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 委員長                | 森 功一(自由民主党鎌倉市議会議員団)   |
| 副委員長               | 中村聡一郎(鎌倉のヴィジョンを考える会)  |
| 委員                 | 安立 奈穂(神奈川ネットワーク運動・鎌倉) |
|                    | 西岡 幸子(公明党鎌倉市議会議員団)    |
|                    | 池田 実(鎌倉みらい)           |
|                    | 志田 一宏(自由民主党鎌倉市議会議員団)  |
|                    | 吉岡 和江(日本共産党鎌倉市議会議員団)  |
| 高橋 浩司(鎌倉夢プロジェクトの会) |                       |